

保健婦だより

(21)

注意すれば防げる 子供のやけど

今年も残すところあと一カ月となりました。何かとあわただしい年末、各家庭では忙しさのあまり、子供たちに目がいき届かなくなる時期です。

探究心の盛んな子供たちは、いろいろな物を手あたりしだいにつかんだり、さわったりします。親がちよっと目を離したときに、ストープにさわったり、やかんをひっくり返したりしてやけどをすることも少なくありません。

やけどは、その程度によって次の三つに分けられます。

- 第一度 皮膚が赤くはれたもの
- 第二度 赤くはれた皮膚に水ぶくれができたもの
- 第三度 皮膚がただれ、一部は黒くなって壊死(体の組織の一部が死ぬこと)したもの



では、実際に子供がやけどしてしまったら、どのようにすればよいのでしょうか。

応急手当て

①まず、できるだけ早く、やけどしたところを冷たい清潔な水(水道の水など)で二、三十分冷やしてください。衣類などはぬがせないで、そのまま水に当てます。

②次に衣類を取るのですが、無理にぬがせようと、はがそうとしてはいけません。ゆっくり取り除くか、ハサミなどで衣服を切り取って、やけどをした部分を痛めない配慮が必要です。

③第一度程度のやけどでしたら、冷やしたあと清潔なガーゼでそっとおおって、軽くばんそうこうで止めておけば、そのまま治つしうでしょう。

④第二度以上のやけどでしたら、必ず医師の治療を受けてください。このようなやけどの場合は、水で十分に冷やしたあと、大きな布でやけどの部分ですっぽり包んで病院へ行きましょう。みそやしょう油などを使っての民間療法がありますが、あとの処

置を妨げることがあるのでやめてください。

⑤やけどは範囲が広いほど重症です。例え第一度程度のものであっても範囲が大きいと、ショックで生命に危険をきたすおそれがあります。特に子供の場合には、体の表面積の10%以上に及ぶやけどは重症と考慮して、できるだけ早く病院に運んでください。

子供のやけどなどの事故は、お母さんや家族のちよっとした注意で防げるものです。今一度家族で「家の中の危険箇所」をチェックし、子供たちが健康で安全な生活を送れるよう注意しましょう。

ちびっこギャラリー

おとうさん

真中保育所



きくち りさちゃん
おひげがすごくかっこいいの。



さくらば じゅんくん
いつもにこにこしていて、とてもやさしいよ。



さとう めぐみちゃん
いっしょにおふろへはいてくれるの。

～ ユニークで楽しい～ 手作り年賀状を募集

広報統計係では、皆さんの楽しくてユニークな手作り年賀状を募集しています。皆さんからいただいた手作り年賀状は、来年一月一日号広報で市民の皆さんへご紹介いたしますので、奮ってご応募ください。

〈書き方〉
官製ハガキ(年賀ハガキは使わないこと)の表面に、送り先とあなたの住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。

〈送り先〉
〒017 大館市字中城20番地
市企画調整課広報統計係
〈締め切り〉
12月9日(土)当日消印有効

くください。

裏面には、①イラストや漫画、②新しい年にやりたいことや将来への大きな夢……の二つを必ず記入してください。なお、絵や文字は太く黒一色で書いてください。

おめでとう
1989
目なり
ソロバンを
がんばり
手伝いをすべ
今年もよろしく

▲64年1月号から